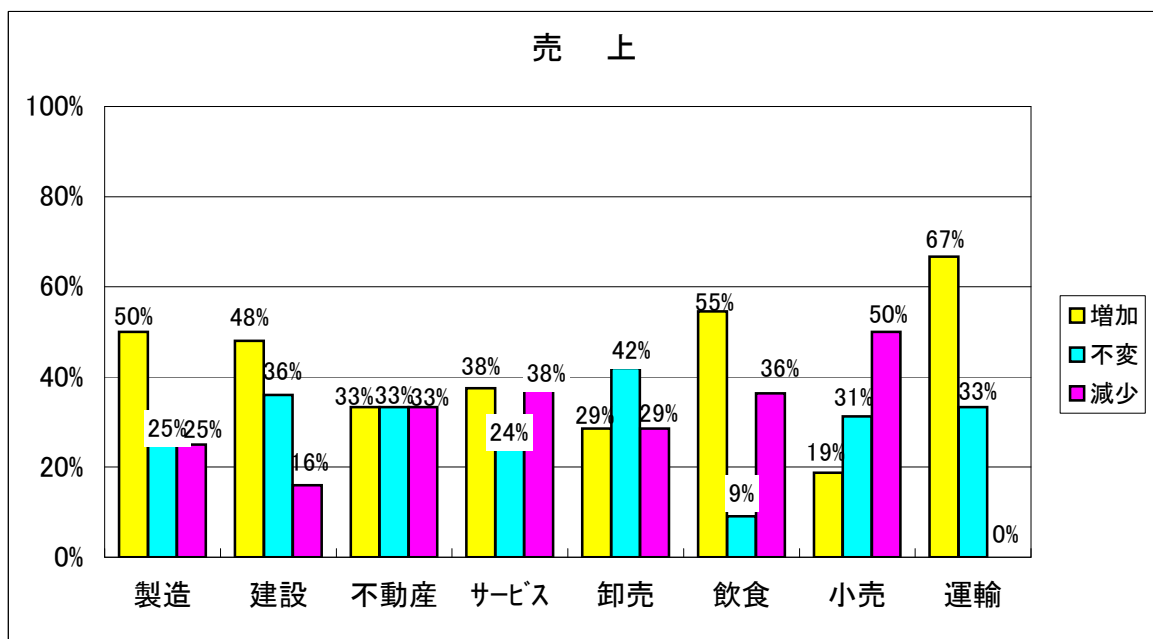


調査1 平成25年7月～12月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と平成26年上期の見通しについて比較表示してある。

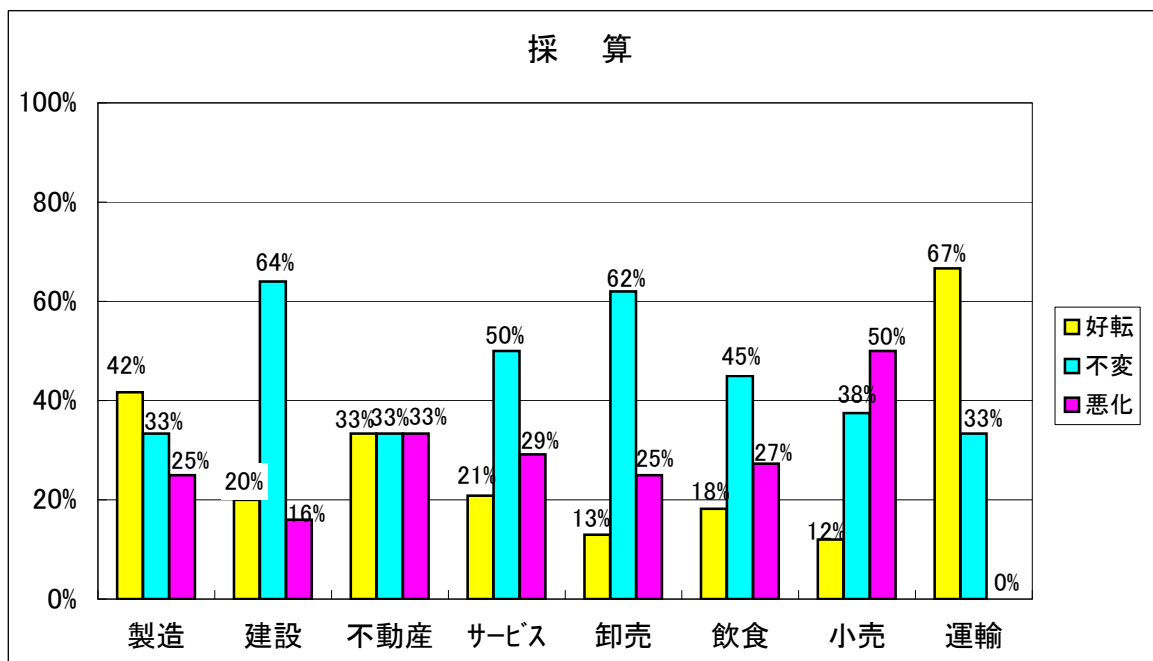
①売上について

全体で見ると、増加が40%（前回34%）、減少が31%（前回31%）となった。売上増加が顕著なのが運輸業（67%）飲食業（55%）製造業（50%）と半数以上の企業が前年に比べ改善している。売上減少なのが小売業（50%）で厳しい状況である。



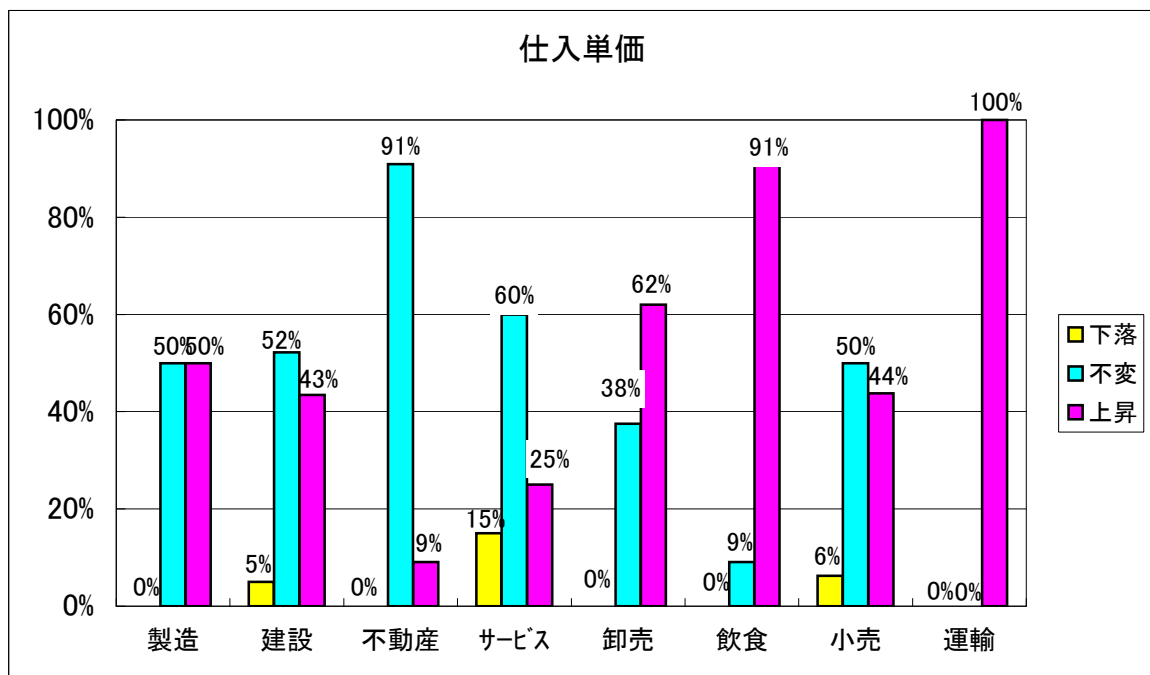
②採算について

全体で見ると、「好転」23%（前回24%）、「不変」49%（前回50%）、「悪化」28%（前回26%）であり、前回の状況と変化ない。好転している業種は、運輸業（67%）、製造業（42%）で悪化しているのが小売業（50%）である。



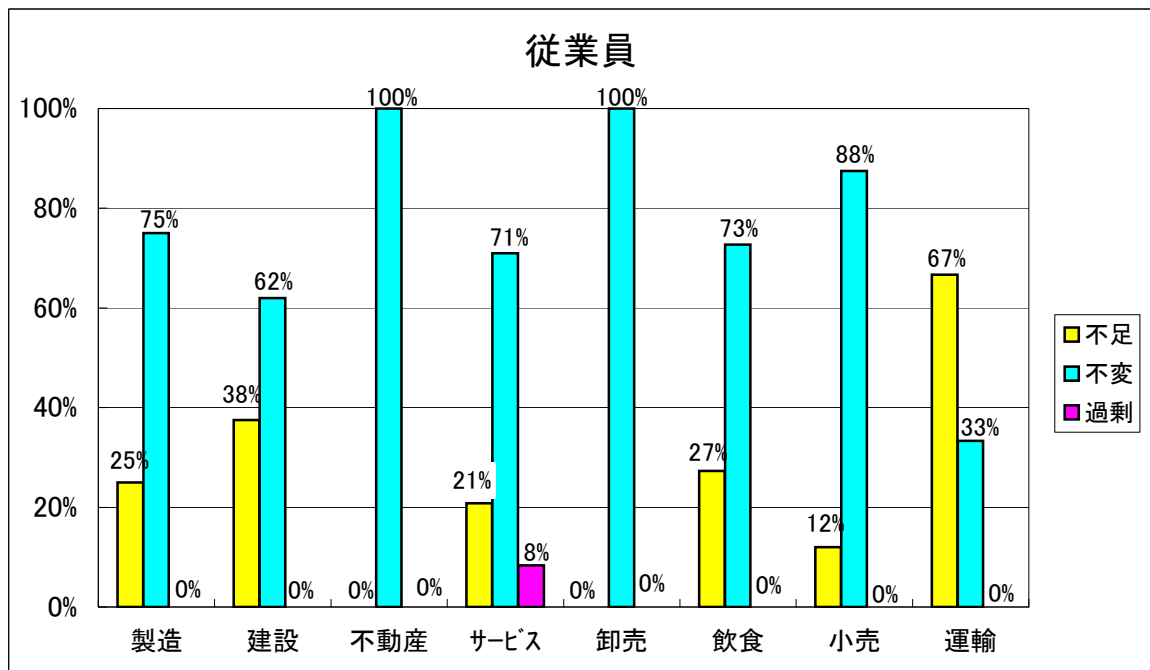
③仕入単価について

仕入単価が「上昇」しているのが運輸業で(67%→100%)、飲食業(90%→91%)。円安による原油価格や原材料の高騰が影響している。

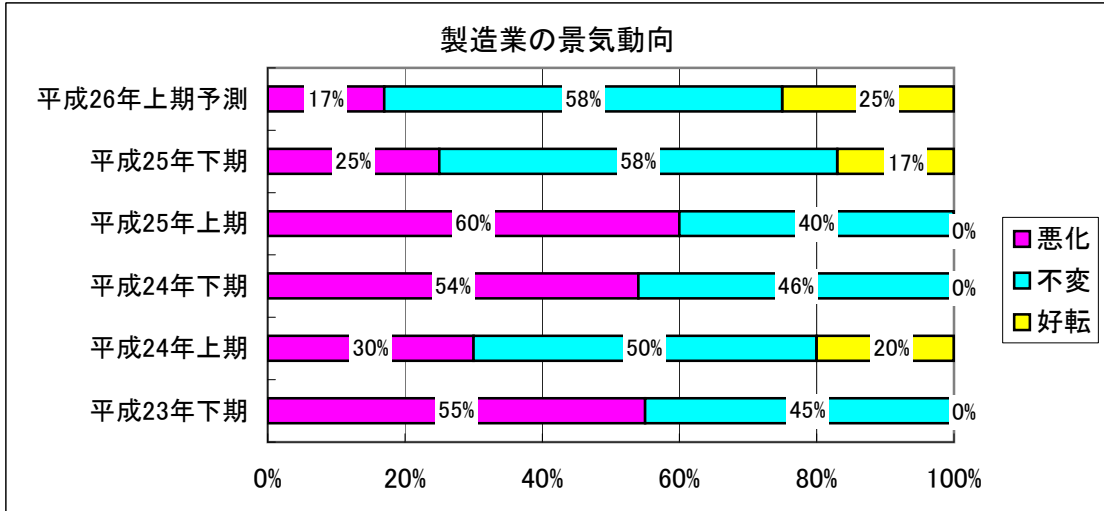


④従業員について

全体で見ると「不変」の回答が多いなか、「不足」との回答が多いのが運輸業(67%、前回33%)、建設業(38%、前回23%)飲食業(27%、前回10%)となり、前回よりも顕著になっている。

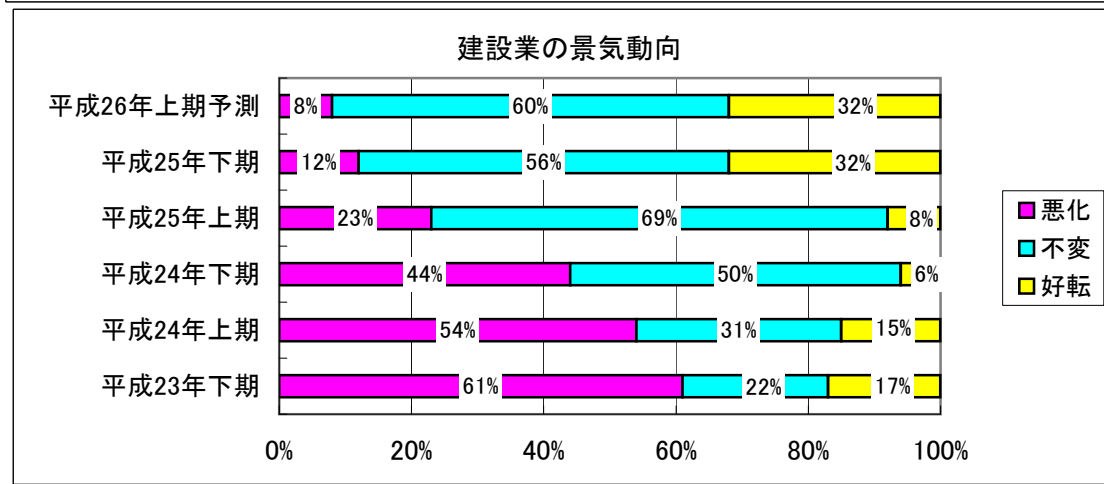


⑤業界の景気動向について



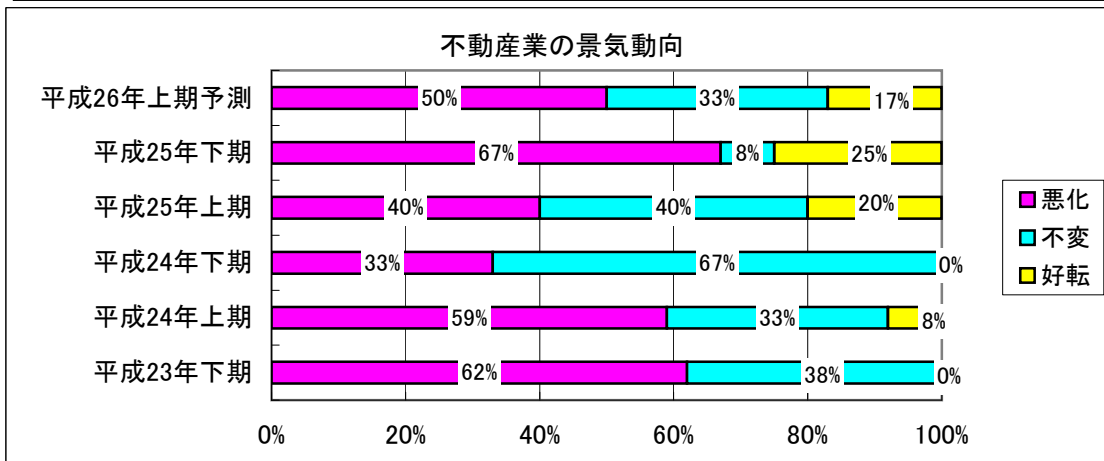
■ 製造業

平成25年下期では、好転が17%と増加し、悪化は25%と前回より35%ダウン、景気は上向きになっている。平成26年上期の景気は更に良好な状況が続く見通しである。



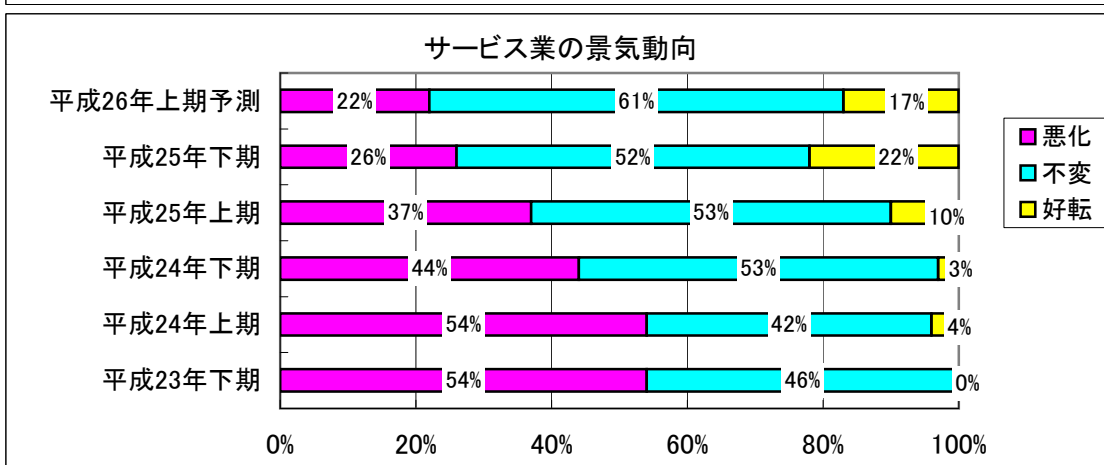
■ 建設業

平成25年下期では、「好転」が32%と前回より大きく上向きになっている。平成26年上期の景気も「悪化」が8%と減少し、好景気の期待が感じられる。



■ 不動産業

平成25年下期は、「好転」が25%で前回よりもアップしているものの、「悪化」が67%と前回より27%アップし、全体的には景気は厳しいようである。平成26年も同じような見通しである。

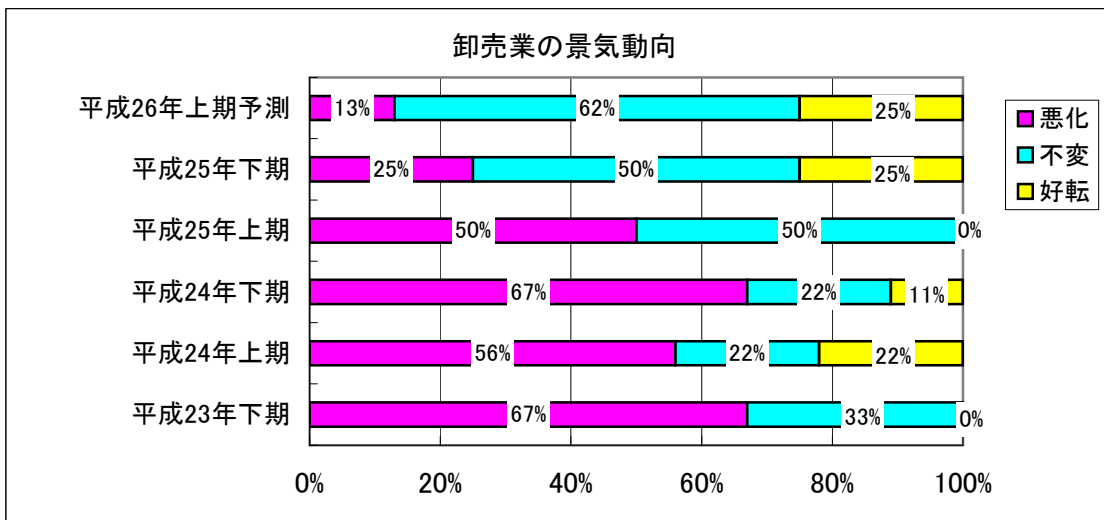


■ サービス業

平成25年下期では前回よりも「好転」が22%とアップし、「悪化」が26%へとダウンしている。景気の上向き感が感じられる。平成26年上期の景気も「悪化」が減少し、徐々に改善されている。

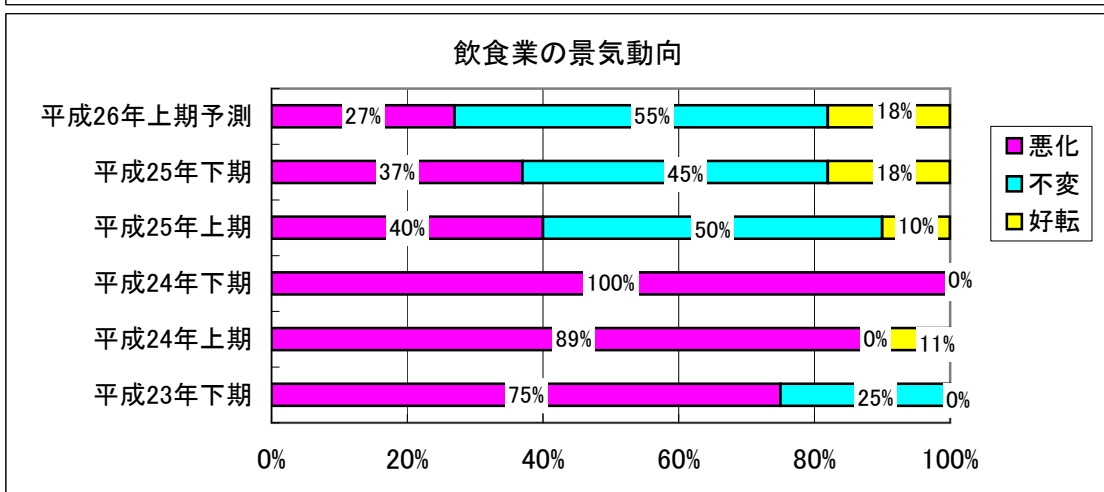
卸売業

平成25年下期は好転が25%へとアップし、悪化が25%と前回より減少している。景気の上向きが感じられる。平成26年上期もその傾向は続きそうである。



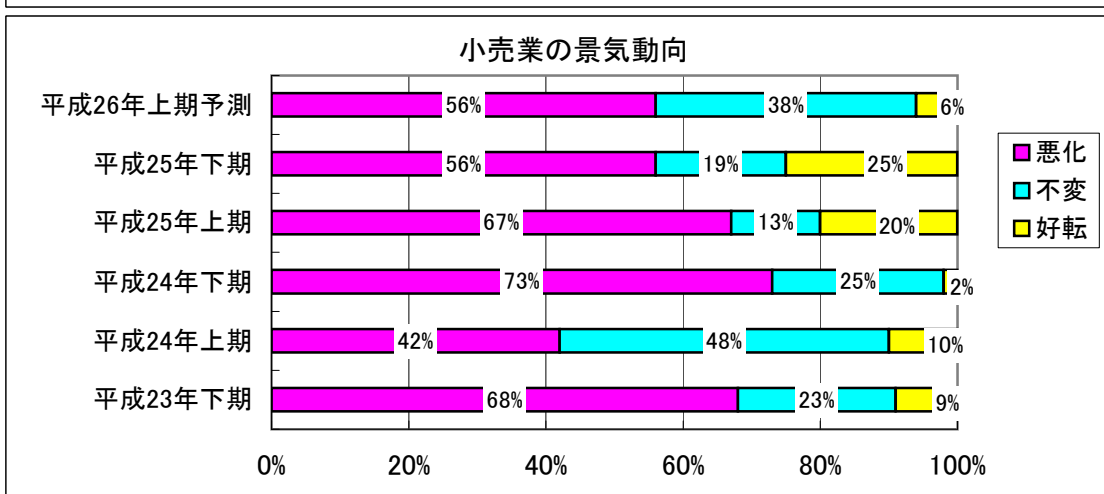
飲食業

平成25年下期では好転が18%と前回よりアップし、悪化は37%と前回より減少している。厳しい状況に中でも徐々に景気の回復が感じられる。平成26年上期も上向き傾向の見通しである。



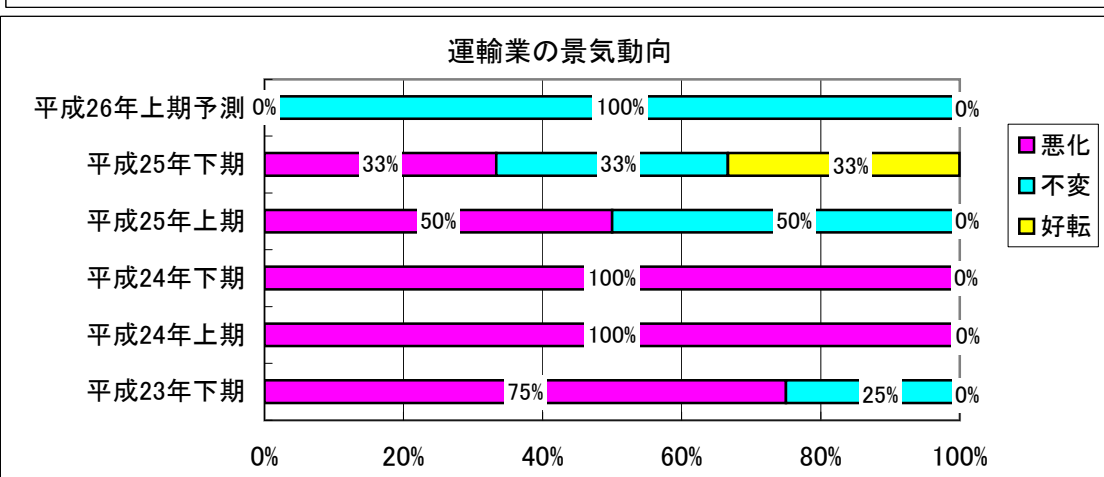
小売業

平成25年下期は、「好転」が25%と前回よりもアップしているものの、半数以上の56%の企業が「悪化」と回答している。全体としては厳しい状況にある。



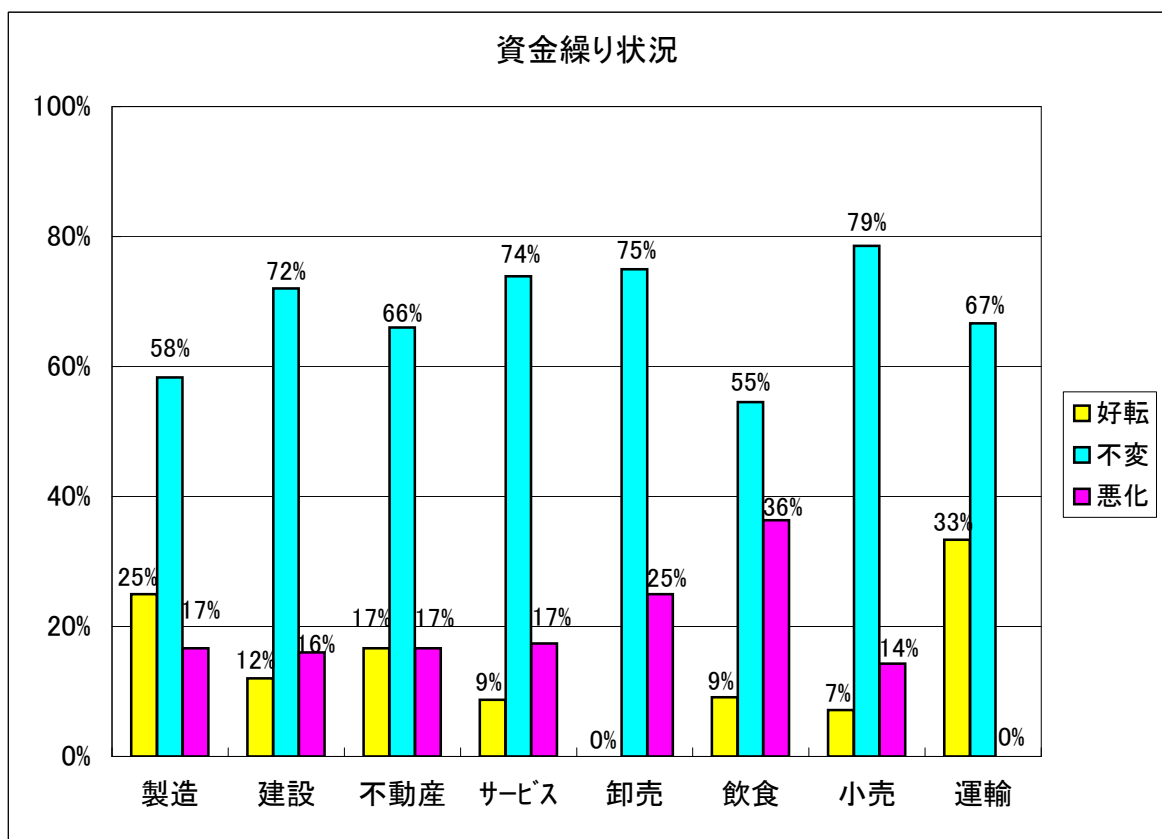
運輸業

平成25年下期は、この調査を始めて以来初めて「好転」が見られた。原油価格の高騰にも関わらず業界の景況感はかなり回復している。平成26年上期の見通しも悪化はなく、この状態が続きそうな状況である。



⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が68%（前回73%）、「悪化」が18%（前回19%）、「好転」が14%（前回8%）と回答している。業種で見ると運輸業（33%）、製造業（25%）が資金繰りの好転がみられ、飲食業（36%）が悪化している。



⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が50%（前回45%）、「融資無し」が21%（前回30%）、「厳しい」が9%（前回10%）、「緩やか」が20%（前回15%）であった。融資状況に大きな変化は見られなかった。

